

みなさんの支援で
こんなことができます



¥7,500



家計の状況が厳しい子ども
が学用品一式を受け取る
ことができます。

+

+

3軒の農家に、家庭の収入を
増やすためのカカオの農業
訓練を実施できます。

¥3000



¥1000

子ども1人の給食1か月分の
支援ができます。

+



認定NPO法人ACE <https://acejapan.org>

〒110-0005東京都台東区上野六丁目1番6号

御徒町グリーンハイツ1005号

Email: info@acejapan.org TEL: 03-3835-7555

受付時間: 平日10:00~17:00 (土日祝休)

ACEは認定NPO法人です。ご寄付は寄付金控除の対象となります。



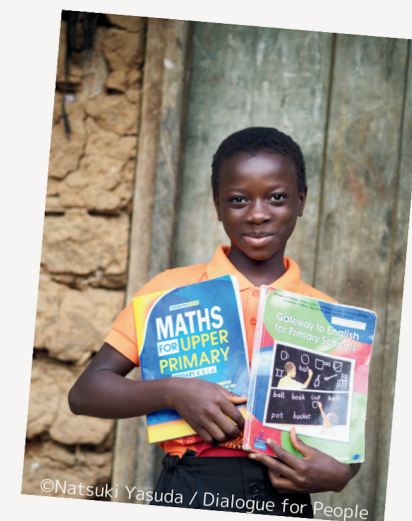
世界の子どもの
10人に1人が



学校にも行けずに
働かされています。

遊ぶ、学ぶ、笑う。

そんな当たり前を、
世界の子どもたちに。



©Natsuki Yasuda / Dialogue for People

ACE
—児童労働のない未来へ—



インド・コットン生産地で働く子どもは35万人

Tシャツなど衣服や寝具等に多く使われるコットン（綿）。世界最大級の耕地面積と生産量を誇るインドでは、35万人以上もの子どもたちが安い労働力として劣悪な条件下で働き、学校へ通うことができません。コットン栽培には多くの人手が要ります。強い日差しのもとで休みなく働き、農業による皮膚や肺の病気になることもあります。

ガーナ・カカオ生産地で働く子どもは77万人

ガーナをはじめとする西アフリカのカカオ生産地域では、家族単位の小規模農家がほとんどのため、子どもも重要な労働力とされてきました。

カカオ栽培は重労働です。ナタ（刃物）を使った作業でケガをしたり、重いカカオを運ぶことで成長途中の体を壊すなど、危険が伴います。



日本にも存在する児童労働

日本国内における児童労働としては、建築業、製造業およびサービス業における**危険有害労働**や**深夜労働**が報告されています。

このような危険な労働により命を落とす子どももいます。

家庭やコミュニティの貧困や社会的排除などを要因として発生する児童労働は、**子ども（17歳以下）の7人に1人が相対的貧困状態**にある日本においても重大な問題です。

ACEは、子どもの権利を奪う**児童労働**の問題に対して、子どもや家族への支援を行うほか、児童労働を生み出さない社会にするために企業や政府と協働しています



インドのコットン生産地で

住民への啓発活動のほか、公立学校への橋渡しとしての「ブリッジスクール」の運営、義務教育年齢を過ぎてしまった女の子のための職業訓練センター（自立支援施設）の運営、ヤギなどの家畜を貸与して家庭の収入向上をめざす支援などを行い、貧困と児童労働の悪循環を断ち切れるよう取り組んでいます。

ガーナのカカオ生産地で

住民ボランティアグループによる見回り活動や、貧困家庭への学用品や制服の無償支給、家庭の収入向上のためのカカオ農家の農業トレーニング、PTAや子どもたちの話し合いの場づくりによる学校環境改善の取り組みなどをおこなっています。



日本で

日本にもある児童労働から子どもを守り、児童労働をなくすための活動を行うとともに、子どもの権利の普及と実現のための活動も行っています。

また、児童労働を生み出さない社会の仕組みづくりのため、市民・企業・政府に働きかけています。